

## 愛西市巡回バス運行検討委員会 会議録（概要）

会 議 名	令和5年度 第2回愛西市巡回バス運行検討委員会
開 催 日 時	令和5年10月27日（金）午前10時00分から午前12時00分まで
開 催 場 所	愛西市役所 北館 3階 災害対策本部兼会議室1・2
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	鷺野 満
協 議 事 項 等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 附議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 愛西市巡回バスアンケートの結果報告について</li> <li>(2) 今後の取り組みについて</li> </ol> </li> <li>3. その他</li> </ol>
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	3人
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 令和5年9月実施 愛西市巡回バスアンケート結果について</li> <li>・ アンケート資料【問1】回答者の属性について</li> <li>・ 巡回バス運行検討委員会委員及び市民からいただいた「ご意見」の項目別取りまとめ（令和5年7月まで）</li> <li>・ 愛西市巡回バス運行検討委員会委員名簿</li> <li>・ 令和5年9月実施 愛西市巡回バスアンケート結果について（HP用）</li> <li>・ 巡回バスアンケート「ご意見」の項目別取りまとめ（掲載なし）</li> </ul>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役 職	氏 名	備 考
委 員 長	伊豆原 浩二	NPO 法人まちづくりの達人ネットワーク
副委員長	水野 壽里	佐屋地区
委 員	石原 ひろみ	佐屋地区
〃	高田 恭代	佐屋地区
〃	濱村 紀子	佐屋地区
〃	加藤 輝彦	立田地区
〃	横井 富一	八開地区
〃	三輪 義治	八開地区
〃	福田 道雄	八開地区
〃	鷺野 満	八開地区 (欠席)
〃	松永 恵美子	佐織地区
〃	天川 一二三	佐織地区

事務局

氏 名	氏 名
青木 万亀雄	水野 重仁
吉田 充宏	今田 茉里

運行受託者

氏 名	所 属
堀尾 勝	栄進物流株式会社

## 審議経過

発言者	内容（概要）
事務局	<p>本日は、お忙しいところ、ご出席頂き、ありがとうございます。</p> <p>ただ今から、令和5年度第2回愛西市巡回バス運行検討委員会を始めさせていただきます。</p> <p>当委員会は、「愛西市の審議会等の会議公開に関する要綱」の規定により、公開の会議となっています。会議開催の30分前から10分前までの傍聴人の受け付けをしました結果、3名の傍聴人がございましたのでご報告します。</p> <p>傍聴の際には、同規定に基づき、会議終了後の会議資料の返却、撮影及び録音等の会議進行を妨げる行為を行わないよう、ご協力をお願いします。</p> <p>また、議事の効率的な進行に、皆様のご協力をお願いします。</p> <p>（配布資料の確認）</p> <p>では、お手元の資料、次第1. あいさつ 伊豆原委員長からご挨拶をいただきます。</p>
委員長	<p>《委員長あいさつ》</p>
事務局	<p>これ以降、本日の会議の取り回しにつきましては、委員長をお願いします。</p>
委員長	<p>次第2「附議事項」(1)に移ります。</p> <p>(1) 愛西市巡回バスアンケートの結果報告について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>《事務局より資料の説明》</p>
委員長	<p>ただいま、事務局からアンケートの結果について説明がありました。今回の結果を見て、委員の皆さんからご意見や感想など、何かご発言ありますか。</p>
委員	<p>今回出てきた意見について、ルート別や旧町村別（地域別）で分けると、もっと整理がしやすくなると思う。今はすべて一緒になってしまっている。また、少数意見を一つひとつ羅列する必要があるのかも議論の対象にしてよいのでは。せっかくアンケートで何百と意見が集まって方向性を考えているのに、一つひとつを全て拾い上げてはかえって方向性も見えなくなってしまう。また、今回のアンケートでは、巡回バスに直接関わる部分と関わらない部分の要望があるが、直接関わる部分の要望をとりまとめたこの場ではそちらを議論し、バスに直接関わらないご意見については、別にまとめて整理していく必要があると思う。</p> <p>そして、今後バスのダイヤやルートやバス停について議論していくと思うが、それとは別に今この検討委員会で出来ることがアンケートの中に入れてあるので、そういう部分については是非検討委員会で出来ることからやってほしい。是非そういう方向で進めていただきたい。</p>

委員	<p>立田地区は、バスの利用者もルートも少ないのでこれまでバスへの関心が低かったが、今回のアンケート結果で意識が少し変わった。佐屋・佐織と立田・八開と大きくエリアを分けた時、全部に均等にサービスを提供しようとする、ダイヤやバス停を増やしてほしいという要望ばかりになってしまう。今回のアンケートで、立田地区は船頭平閘門と道の駅に行きたいという意見が出ていたが、観光という点でイベント時には他地区からバスを多く出してもらうなどの対応が出来ないか。特に道の駅は、現在の3倍ほどの規模になるという計画があると聞いている。そういったピンポイントで運行をするのも方法の一つだと思う。</p>
委員長	<p>行ってみたい場所として道の駅が挙がっている。道の駅があるまちは道の駅をバスの拠点としていることが多い。道の駅の計画の時点で、バスのネットワークをどうするのかという発想が無ければバスの導線は作れません。これについてはぜひ考えてほしい。</p>
委員	<p>アンケート期間に多くの知り合いに回答をお願いした。市外の友人たちからは「市外だが回答してもいいのか」と聞かれたが、市外の人にバスについて周知することも委員の役割の一つだと思う。</p>
委員長	<p>市外の方にご意見を聞くのはなかなか難しい。今回は利用者だけのアンケートではないので、アンケートの回答だけに頼ってはいけないことは認識しておかないといけない。市外の方から見た愛西市巡回バスはどうなのかについて、意見を聞いて考える機会があると良いと思う。</p> <p>今回のアンケートは、バスを利用している人と利用していない人からの意見があるので、全部集計せずそこを分けて考えなければいけない。年齢や性別といった属性や、地区別やルート別などどういった区分で分けて見るのか。要望全てを合わせて考えるのではなく、愛西市は何を求めて考えていくのか。地区ごとのルートで考えるなら、要望も地区やルートごとに分けて考える必要がある。今回の集計は単純集計なのでこれはこれでよいが、まとめると要望が見えなくなる。分析ということになると、この場でどういう立場で分析していくかを考え、路線ごとに考えるならば路線ごとに集計すればよいと思います。そういった意見を委員の皆さんからいただければと思います。</p> <p>ホームページへのアンケート結果の掲載については、分析した内容を掲載するとすごい量になり、全て載せては大変見づらいし分かりにくいと思う。アンケート結果を元にどういったことを運行検討委員会で検討していくかを示すために出すのは良いと思うので、結果報告としてまずは単純集計を掲載し、今後どういった検討をしていくかを整理して、委員会で出た意見やその結果を順次載せてはどうか。</p>
事務局	<p>ホームページには、今回作成したグラフ入りの単純集計結果と、問1の属性別表をアンケート結果として掲載します。</p>

委員長	<p>今回のアンケートでは多くのご意見をいただいたが、全部に応えることはできないし、数が多いかどうかで要望に応えるわけではない。バスの本数を増やしてほしいという要望が多くても、それにどれだけの金額がかかるのか、ということを検討せずに実現することはできません。本数を増やしてほしいという気持ちは分かるが、数倍の予算を費やすことは難しい。</p> <p>今回のアンケートで利用者の利用時間帯を尋ねたのは、いつ利用されているのかを調べたかったからです。あとは、路線ごとにいくら費用がかかっているのか、どれくらいの人が利用しているのか、一人頭にかかる費用はいくらか、運転手は何人必要か、そういったデータを事務局が持っていないと答えが出せない。今回のアンケートでどんな要望があるのかはよく分かったのでそれを受け止めて、その中で出来ることは何なのかを探していく必要がある。</p>
委員	<p>立田のように過疎の地域では、移動の手段が限られている。現在のバスは人が住んでいない地域を走っている現実もあり、他の地域と機会が均等になるようにとのことだろうが、考える必要がある。</p>
委員長	<p>この会議は巡回バス運行検討委員会だが、世の中はバス以外の手段でも動いており、愛西市がバスに特化した考えでいくのかについても事務局には検討いただきたい。地域公共交通の移動手段についてどこまで考えるのか、バス以外にもタクシーやデマンドタクシー、またはライドシェアも出てきている。今後どうするかを含めて整理していく必要があると思います。</p> <p>今回はアンケート結果について検討するという事なので、事務局が作成した結果を公表することで、皆さんよろしいですか。</p>
委員	<p>グラフもあり、見やすくよいと思います。</p>
委員長	<p>次に、次第2「附議事項」(2)に移ります。今後の取り組みについて、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>ただいま、アンケート結果について報告をさせていただきました。利用者のほとんどが60歳代から80歳代の高齢者であり、少数ではありますが、幅広い年齢層の方の利用も確認ができました。利用目的では、「買い物」や「通院」が多く、主に日常生活のために巡回バスを利用するものとなっているため、今後、高齢化が進むにつれ利用率が上昇することも考えられます。各ルートに関する意見としては、増便や直行便の実現など、利便性の向上を求める声も多く寄せられており、利用者にとって、必ずしも現状が十分なものとはなっていないことがわかります。</p> <p>巡回バスは、現状維持ではなく、利用実態等に即して改善の推進を継続して行っていく必要があると考えます。改善を検討する内容としては、今回のアンケート結果やこれまでの引継ぎ事項も踏まえ、委員の皆さんからご意見</p>

	<p>をいただきながら、事務局でも各ルートについて整理を進め、今後回を重ねる中で効果的な施策の検討を進めていく予定ですので、そちらは次回以降に資料を示していければと思います。ただ委員さんからご指摘いただいたように、いただいたご意見に関して早期に実現可能なものがあれば、並行して検討し実施すべきと考えます。</p> <p>そこで事務局からの提案ですが、過去の委員会からの引継ぎ事項や、市民の皆様からのご意見、今回のアンケート結果も踏まえ、たとえば既に閉鎖や変更している施設名が表示された停留所などは、これまでの運用であれば、時刻表の変更時等に反映していたのですが、そうすると変更時期が遅くなってしまうため、現状に合っていない停留所について事務局の方で検討をしたいと考えています。また、危険箇所と思われる停留所など早急に対応が必要な案件や、巡回バスの運用変更により早期に対応可能な要望事項などを事務局にて洗い出しをし、委員会での承認が得られれば、対応可能なものより、今後の施策の検討と並行して改善を進めたいと考えております。</p> <p>例を挙げますと、「車内で次に停まるバス停がわからない」との要望がございました。そこで現在事務局で現在考えている案としまして、運転手にワイヤレスマイクを装着して、バス停のアナウンスを実施することで改善できないかと考えております。実行する場合、設備や運転手への負担なども生じると思いますので、委託業者側とも調整を進めていきたいと思っております。もちろん予算を伴うものについては調整が必要であります。実現可能なものは見直しを進めていきたいと思います。皆様のご了承がいただければ、次回までに、案件のピックアップと改善方法の案などを取りまとめますので、ご検討いただければと考えます。</p>
委員長	<p>ただいま事務局から提案がありましたが、皆さん何かご意見はありますか。</p>
委員	<p>危険なバス停について、アンケートにも交差点や横断歩道の近くにあるというのがあったが、これは検討というよりやらなくてはいけないことです。実際このようなバス停はありますか。</p>
事務局	<p>こちらはいただいたご意見ですが、実際危険な箇所はあるのではないかと思いますので、事務局で確認したいと思います。</p>
委員	<p>場所は特定されていますか。</p>
事務局	<p>具体的な場所の記載は2か所くらいですが、横断歩道の近くにあるというもののほかに、バス停から目的地に行くために横断歩道がない箇所を渡る人が多く、結果的に危険になっている箇所というのもあるようです。</p>
委員長	<p>愛西市のバスは無償で運行しているので、全てのバス停を公安に協議していないと思います。公安から止めるように言われている訳ではないのでルー</p>

委員	<p>ル違反の状態ではないが、安全性という意味ではクリアできていない可能性があります。本来バス停の設置というのは大変厳しい基準があり、増やすのはとても難しい。愛西市は設置条件がない分、一度全体の安全性をチェックする必要があると思います。</p> <p>具体的な要望になりますが、佐屋中央ルートของバス停に日置公民館があるが、その近くに鈴木整形外科という病院があり、多くのバス利用者がそこに通っている。佐屋東ルートも同じ道を通るがこのバス停には停まらないので、ここに停めていただきたいという声をバス利用者さんから聞いています。</p>
委員長	<p>バス停の安全性という視点からも、そういった利用者の多いバス停が人々の溜まり場となった時に安全かどうかはチェックした方が良い。</p> <p>みよし市はイオンの前にバス停が4つあるが、暑さ寒さを店内で凌げる。またバスが来た時は5分前にアナウンスが流れる仕組みになっており、安心して買い物をすることができる。そういう、小さなことだけれど皆さんが喜んでくれることを、我々が見つけて提案していくのも大切なことだと思います。</p> <p>では、事務局にはそういった変更が必要なバス停への対応をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局の方でバス停の洗い出しをし、改善を進めていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>新しい図も作らないといけませんね。</p>
事務局	<p>バス停を移動すると時刻表への影響も出てくるため、今後委員の皆さんにご意見をいただきながら進めていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>他に皆さん、事務局に確認してもらいたい部分はありますか。</p> <p>私としては、経費がどれだけかかっているかというデータを出せるので、その辺りを事務局には常に持っていていただきたい。本数を増やして欲しいという要望はどこでも出るが、市が投資したバスを増やすというのはなかなか難しいことで、1時間に1本を30分に1本にしてほしいというのは気持ちはわかるが、それにどれくらいのお金がかかるのか、明確にしておくとうい。</p> <p>今実際のところ、バスは無償で補助金も貰っていないので、愛西市は全部市費で払っているが、1路線に最低でも1千万円はかかると思われる。</p>
事務局	<p>単純計算で、市民一人当たり千円ほどかかっている計算です。</p>
委員長	<p>千円というのが高いのか安いのかは、愛知県の交通対策課が県内のコミュニティバスにいくらかかっているのかのデータがホームページに年ごとに全て出ているので、チェックすれば比較ができると思う。それを見れば、自分</p>

事務局	<p>の街がどのくらいの位置にいるか分かります。近隣で無償でやっているのは蟹江町がありますので参考にするとよい。</p> <p>今後の検討については、経費も含めてお示ししていければと思います。</p>
委員長	<p>そういったデータは、ホームページなどにも載せておくといい。そういうデータがあれば、今どれくらいかかっている、1本増やすのにどれくらいかかるのかが市民の皆さんにも分かるようになります。お金をかけてでも増やそうという意見が多ければ、そういった方向で検討する必要もある。</p> <p>今日は運行事業者さんが来ていただいているが、今は運転手不足の時代ですから、本数の増加という事がそもそも可能なのかという問題もあります。運転手さん目線で危険箇所を教えてもらうというのも大事なので、ヒアリングをしていただきたい。</p>
事務局	<p>先日運転手アンケートを行いまして、そういった聞き取りを進めております。本日は集計が間に合っていないため、次回委員会時にお示しできればと思います。</p>
委員長	<p>進めていただいていますか、ありがとうございます。現場を知っている運転手さんからのご意見はとても大切です。他のご意見はありますか。</p>
委員	<p>他の地域では、「コミュニティバス」という名称でやっているところが多い。変更にはお金がかかるかもしれないが、「巡回バス」から「コミュニティバス」に変更してはどうか。「巡回バス」というのは固いように思う。</p>
委員	<p>弥富市の「きんちゃんバス」のように、愛称のところもありますね。</p>
委員長	<p>愛称の所は多いですね。公募するのでもいいですし、この委員会で考えるのでもよいでしょう。全体で付けたり、ルートごとに名前を付けてあげるというのも手ですね。楽しい愛称だと良いと思います。</p>
委員長	<p>いろいろありますね。萩市のバスは、「晋作くん」と「松陰先生」という歴史にちなんだ名前がついています。地域の名前がついているのも多い。いろいろな付け方がありますので、楽しい名前になると良いですね。</p> <p>他に皆さんからご意見はありますか。</p>
委員	<p>アンケートに、バスに乗りたい場所で手を挙げると自由に乗れるようにしてほしいという意見がある。春日井市の高蔵寺ニュータウンで先月からそういう形でやっていると聞いたが、愛西市も八開や立田のような広い地域でやれないか。法的な問題や安全性についての問題もあるだろうが、この検討委員会で提案し検討してはどうか。</p>



	<p>あと、津島市が海津市への乗り入れを10月1日から始めましたが、主な目的はおちょぼさんへの観光目的と聞いたが。</p>
委員	<p>海津市が要望して津島市へ乗り入れたものです。</p>
委員	<p>コミュニティバスが県をまたいで広域地域で連携した事例として、たとえば桑名市と連携し船頭平閘門のあたりを繋ぐなど、コミュニティバスだけではなく広域での連携も必要だと思う。</p>
事務局	<p>海津市さんの事例については、今回は津島市への乗り入れとなったが、前担当の時点で海津市さんから愛西市への乗り入れが可能かという確認はあり、愛西市からは可能とお伝えしています。最終的に海津市でアンケートを行った結果、要望の多い津島駅への乗り入れになったと聞いております。この路線は名古屋圏への交通アクセス向上のためとのこと。</p>
委員	<p>実際、手を挙げてどこでも乗れるというのは可能なのか。</p>
委員長	<p>メリットはあるが、デメリットとして定時制は確保できなくなるので、そういうデメリットも考慮しないといけない。ましてや、運転手さんが今以上に大変になると思います。公安との協議も必要になります。検討はやっても良いと思うが。</p>
委員	<p>アンケートの中で、時刻表通りにバスが来ないという事があって気になったが、それはやはり何か事情がありますか。</p>
事務局	<p>今回時刻についてのご要望が多かったので、そちらについて聞き取りを行いました。時刻表を作成するときには、その時間で本当に走れるのか実際に車で走ってみてから作っているのですが、乗降時間が長くなると遅れてしまう。そこをどのようにするのか、検証が必要です。</p>
委員長	<p>バスは早発できないので、運転手さんは大変です。そうになると、どの程度なら遅れてもよいか、10分までなら許そうとか、そういう事が決まっていると運転手さんはすごく楽になると思います。我々は、どこまでを許容範囲でいけるかを考えてあげないと、運転手さんは時刻表通りに戻そうとして一生懸命にならなければならない。安全性の面でも、あまり無理してはいけない。たとえば、運転中は立ってはいけないと決まっていますが、あれは運転中に事故が起こった場合、運転手さんの責任になってしまうからです。そういう事は皆が認識しないと。アンケートに、乗り方ルールが分からないという事もあったが、皆で分かるようにやってあげるのも良いと思います。</p>
事務局	<p>時刻表に載っている「ご利用案内」が小さいので、そこを直してほしいと</p>

<p>委員長</p>	<p>いうご意見もありました。</p> <p>出来ることからやっていきたいですね。たとえば「車内の停車ボタン位置を変えてほしい」というご意見はすごいお金がかかるので難しいかもしれないが、なるべくお金をかけずにすぐやれることを、今日配られた資料の意見を読んで見つけ出していきましょう。</p>
<p>委員</p>	<p>私もアンケートを答えるまで、実際バスに乗ったことが無かったので乗って見たが、どこで降りるのかわからず不安になりながら降りた覚えがある。それと同時にシートベルト着用の案内も特になく、気付かずに乗ってしまっていたので、もっと分かるように案内してほしい。乗り降りする人によっては、10分ぐらい遅れてしまうのも私は仕方がないことだと思っていたが、どこかで周知をするか、皆がそういうものだと思うようになれば、運転手さんも負担に思うことがなくなってよいと思います。安全第一なので。</p>
<p>事務局</p>	<p>安全が優先というのはもっともです。ただ、電車との乗り継ぎが出来なくなるというご意見もあり、事務局としても考えている最中ではあります。</p>
<p>委員</p>	<p>田舎だと電車も正確に来ないことはよくあるので、無理して急ぐよりも安全性を取るという考えに皆さんがなってくれるように周知したい。</p>
<p>委員</p>	<p>ルートがありますから、始発に近いバス停は時間通りですが終点に近いバス停は遅れがちになります。</p>
<p>委員長</p>	<p>時刻はチェックが必要です。ただバスは早発が出来ませんから、利用者が多い時は乗降に時間がかかりますが、人がいない時はバス停に早くついてしまう。そうするとそこで時間まで待たなければいけないので、その部分は運転手さんたちにお話を聞いて、柔軟な体制づくりができるよう検討する必要があると思います。</p>
<p>運行受託者</p>	<p>今言われたように、乗り降りして時間がかかって後半遅れていきます。もし時刻表を変えたとしたら後半の方を、距離で時間を設定しているのでそこを上乗せして作成すれば、利用者の皆さんにご迷惑がかからないと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>時刻表の話は調整を進めて整理していく必要があります。他に、今日言っておいた方が良い意見はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>利用者の方に聞いたが、いつも座っている人たちが自分の席を決めていて、他の人が座ろうとしたら「そこは誰々さんの席だ」なんて言われたそうです。グループで利用している人が、新しい人が乗った時にそういうことを言っているようです。</p>

委員長	<p>そういうのは、席は自由ですよとアナウンスをすとか、対策をしないと いけませんね。お客さん同士でもめてはいけない。</p>
委員	<p>あとは、バスに乗って出かけると、帰る時間帯にはもうバスが無くて帰れ ないから乗れないというご意見を聞きました。既に挙げたように皆さんい ろいろなご意見があるが、法的な制限があったり決まり事があって出来ない 部分について、いろいろな制約を良くわからないまま話していても煮詰まっ てしまうので、そういった部分を整理していただくと良いと思います。</p>
委員	<p>巡回バスのPRについて、明後日のあいさいさん祭りと同日開催の福祉ま つりで、「愛西市巡回バスの利用促進を図る会」がブースを出展してPRを行 いますので、ぜひご参加ください。</p>
委員長	<p>PRは口コミが一番ですからね。皆さんも今日帰ったら話して是非広めて ください。 次に、次第3「その他」に移ります。事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>次の開催について、この場で開催日を決めていただきたい。12月の頭頃 に開催したいと思いますがいかがですか。 《会議室の空き状況を確認》 第3回については、12月7日（木）午後2時から、同じ会議室で開催しま す。</p>
委員長	<p>他に意見はありませんか。 長時間になりましたが、これをもちまして愛西市巡回バス運行検討委員会 を閉じさせていただきます。みなさま方のご協力に感謝申し上げます。  ＝閉会＝</p>